

令和5年山武市教育委員会会議第9回定例会会議録

1. 日 時 令和5年9月21日（木）午後2時00分開催
2. 場 所 教育委員会会議室
3. 招集者 山武市教育委員会 教育長 内田 淳一
4. 議 題

議決事項

- 議案第1号 令和5年度山武市教育委員会顕彰被表彰者の決定について
- 議案第2号 学校医の委嘱について

報告事項

- 報告第1号 令和5年山武市議会第3回定例会の報告について
- 報告第2号 いじめ・体罰実態調査（1学期）の結果について
- 報告第3号 令和5年度山武市少年海外派遣事業の報告について
- 報告第4号 第14回山武市生涯学習振興大会について
- 報告第5号 第74回山武郡市民体育大会の結果について
- 報告第6号 行事の共催・後援について
- 報告第7号 令和5年10月の行事予定について

出席委員	教育長	内田 淳一
	委員	北田 昭雄
	委員	相葉 英樹
	委員	伊藤 範子

欠席委員	教育長職務代理者	木島 弘喜
	委員	鈴木 智子

出席した職員の職及び氏名

教育部長	今関 正典
教育総務課長	川島 美雄
子ども教育課長	加藤 直樹
子ども教育課指導室長	高橋 和雄
施設整備課長	嘉瀬 多市
生涯学習課長	渡辺 幹夫
スポーツ振興課長	五木田 吉信
学校給食センター所長	成川 文康
歴史民俗資料館館長	稲見 英輔

事務局

教育総務課副主幹	鈴木 敏一
教育総務課総務企画係主事	豊田 真衣

◎開 会 午後2時00分

教育長 委員の皆様、御苦労さまでございます。まだまだ残暑厳しい中御出席いただきまして、ありがとうございます。

先日の台風13号の豪雨のことですけれども、市内でもたくさんの被害がございました。被災された方々にお見舞いを申し上げたいと思います。学校関係の被害状況につきましては、後ほど担当課から報告をいたします。

それでは、ただいまから、山武市教育委員会会議令和5年第9回の定例会を開会いたします。

本日、木島委員、鈴木委員が欠席ということで連絡を受けております。よろしくお願ひいたします。

◎日程第1 会議録署名人の指名

教育長 日程第1、会議録署名人の指名を行います。
今回は伊藤委員を指名いたします。よろしくお願ひいたします。

伊藤委員 はい。

◎日程第2 会議録の承認

教育長 次に、日程第2、会議録の承認です。
令和5年第8回定例会の会議録を事前に配付させていただきましたが、異議ありませんでしょうか。

(「異議なし。」の声あり)

教育長 異議がないようですので、承認といたします。

◎日程第3 教育長報告

教育長 次に、日程第3、教育長報告です。資料の1ページになります。主なもののみ説明をいたします。

8月18日、山武市少年海外派遣団の出発式がございました。この日から8月25日までの8日間、15名の派遣団がニュージーランドで研修を行いました。詳細については、後ほど担当課から報告をいたします。

8月20日、山武郡市民体育大会の総合開会式が行われ、その幾つかの競技の応援に参加いたしました。これについても、詳細を担当課から報告いたします。

8月22日、市の総合計画審議会が行われました。この審議会は、

市の総合計画における進捗状況等について、審議会の委員さんから意見をいただく機会がございます。教育関係については、委員から、不登校の問題に関して、市の数値が上がってきていることですか、あるいは国、県との比較についてなど質問がございました。この問題に対する社会の関心が高いということがうかがえまして、教育委員会の対策について振り返る機会というふうに捉えたいと考えました。

8月23日、県立東金特別支援学校の鹿間校長が来庁しまして、市内の小中学校と東金特別支援学校との連携について話し合いをしました。東金特別支援学校の児童生徒が、居住地、自分の住んでいるところの小中学校と交流する活動、いわゆる居住地交流については既に行われておりまして、一定の成果が出ているところです。加えて、鹿間校長からは、東日本大震災の際に支援学校の通学バスが走行中であったということを念頭に、バスが市内通過中に何かあったときに有効な連携ができないかなというような相談がございました。たまに検討していくことが大事だなということでお互い了解をしたところです。

8月26日、山武市建設業災害対策協力会の学校環境ボランティアの活動が今年は山武望洋中学校で行われました。毎年この時期に、市内の建設業、造園業等の皆様に、学校の環境整備のボランティア活動を行っていただいています。今回も、山武望洋中の非常に高くなった木の伐採とかを重機を用いて処理していただきました。

9月6日、千葉大学教育学部の学生が日向小学校を訪問いたしました。これは千葉大学が県の教育委員会と共同で計画したイベントというんでしょうか、1年生、2年生の学生のうちの希望者40名が学校参観と教育活動体験会というのを行うと、そういう企画でございました。学生が4年生になってから教員の実務を意識させるというのではちょっと遅いということで、早いうちから学校現場に触れさせて、教職に対する確かなイメージを持つということ、あるいは、仕事に就く、就業への意欲を持たせたいと、そういうことから計画したというのを県の担当者から聞きました。学生は、2日間にわたるこの計画で、前日は館山市の小中学校を訪問して、君津亀山青少年自然の家泊まって、2日目にこの日向小学校に来て、午後からは幕張の総合教育センターで研修と、なかなかハードなスケジュールで学んでいたようです。このような研修に参加する学生ですから、学ぶ意欲が非常に高く、学校

に対して非常に具体的な質問がたくさん寄せられていたということを知っています。

そのほか、表に記載のとおりでございます。

教育長報告について何か質問ございますでしょうか。よろしいですか。

(「はい。」の声あり)

教育長

ないようですので、続いて本日の議題について申し上げます。本日は、議決事項として議案第1号及び第2号の2件、報告事項として報告第1号から第7号の7件になります。そのうち議案第1号は、教育委員会会議規則第12条第1項第3号の、個人に関する情報を含み、会議を公開することにより、個人の権利、利益を害するおそれのある事項に該当することから非公開としたいのですが、賛成の委員の方は挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

教育長

ありがとうございます。挙手全員です。よって、議案第1号は非公開といたします。

◎日程第4 議決事項

○議案第1号

(議案第1号は、非公開につき概要のみ記載)

教育長

それでは、日程第4、議決事項に入ります。

議案第1号、令和5年度山武市教育委員会顕彰被表彰者の決定についてです。本件は非公開で審議いたします。

それでは、事務局から提案理由をお願いいたします。

教育総務課長。

※教育総務課長から、資料に基づき内容を説明。

※審議の結果原案のとおり可決

教育長

ここで非公開を閉じます。

○議案第2号

教育長

続きまして、議案2号、学校医の委嘱について、事務局から説明をお願いいたします。

子ども教育課長。

子ども教育課長 それでは、議案第2号、学校医の委嘱について御説明いたします。資料は10ページを御覧ください。

前任者の菅澤先生が令和5年9月30日付で辞任することに伴い、後任として、山武郡市医師会から推薦があった山田裕士医師を委嘱するものでございます。委嘱期間は令和5年10月1日から令和6年3月31日までとなります。

以上です。よろしく願いいたします。

教育長 ありがとうございます。

それでは、ただいまの説明について、質問等ございましたらお願いいたします。よろしいですか。

(「はい。」の声あり)

教育長 それでは、お諮りいたします。本議案に賛成する委員の挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

教育長 ありがとうございます。挙手全員です。よって、本議案は原案のとおり可決いたします。

◎日程第5 報告事項

○報告第1号

教育長 続きまして、日程第5、報告事項に入ります。

報告第1号、令和5年山武市議会第3回定例会の報告について、事務局からお願いいたします。

教育部長。

教育部長 報告第1号、令和5年山武市議会第3回定例会の報告についてです。別冊資料の1ページを御覧ください。

市議会の第3回定例会は、9月5日を開会日、9月28日を閉会日とした会期24日間の日程で行われています。

資料2ページに提出議案等の一覧がありますが、教育部に関係する議案は、議案第5号のさんぶの森公園ふれあいセンター施設改修工事請負契約の締結についてと、議案第7号の令和5年度山武市一般会計補正予算(第4号)と、議案第11号の令和4年度山

武市一般会計歳入歳出決算の認定についての3件です。議案第5号と議案第7号については、昨日20日の文教厚生常任委員会で議案審議が行われ、議案第5号及び議案第7号の当該常任委員会所管部分の補正予算は、可決すべきものと決定されました。

次に、9月13日と14日の2日間、一般質問が行われましたので、その内容について報告いたします。資料5ページと6ページをお開きください。

今定例会の教育部に関する一般質問は、代表質問が4名、関連質問が6名おりました。代表質問と関連質問を合わせると質問事項が数多くありますので、大変恐縮ですが、今定例会の一般質問の報告については、質問事項の一覧表を基に説明し、個々の答弁内容については割愛させていただきたいと思っておりますので、御了承願います。

なお、個々の質問事項の詳細と答弁内容については7ページ以降に取りまとめてありますので、後ほど御覧くださるようお願いいたします。

今定例会の一般質問に対する答弁は、私がインフルエンザにかかってしまったため、川島教育総務課長と加藤子ども教育課長の2人が本会議に出席し、対応いたしました。

それでは、5ページから説明いたします。初めに、会派、新政会の代表質問として、櫻田議員から、スポーツ振興について1項目、質問がありました。代表1が質問事項になります。

次に、関連質問として、杉山議員から、部活動の地域移行についてとロードレース大会や駅伝大会について合計9項目、外国籍の方との共生について4項目の質問がありました。

次に、会派、新しい風Sammuの代表質問として、小川一馬議員から、新年度予算について10項目、主なものは文化財関係です。それと、子育て世代及び子ども支援について2項目の質問がありました。

続いて、関連質問として、小山議員から、社会教育の充実と公共施設、特に社会体育施設について4項目の質問がありました。また、関連質問として、池田議員から、学校給食の取組について1項目質問がありました。

次に、会派、さんむ21の代表質問として、石川議員から、公園施設について5項目、部活動の地域移行について3項目の質問がありました。

続いて、関連質問として、渡邊健一議員から、公園施設につい

て4項目、小中学校の入学時における費用負担の軽減について3項目の質問がありました。

最後に、会派、公明党の代表質問として、深沢議員から、ヤングケアラー支援について1項目、学校での民主主義教育について2項目、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーについて1項目の質問がありました。

次に、関連質問として、市川議員から、ヤングケアラー支援について3項目の質問が、また、長谷部議員から、スクールカウンセラーについて4項目の関連質問がありました。

市議会第3回定例会の報告は以上です。

教育長

ありがとうございました。

それでは、ただいまの報告について質問等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

(「はい。」の声あり)

教育長

ありがとうございました。

先に進めたいと思います。

○報告第2号

教育長

続いて、報告第2号、いじめ・体罰実態調査の結果について、説明をお願いいたします。

指導室長。

指導室長

いじめ・体罰実態調査（1学期）の結果について御報告いたします。資料11ページです。

この調査につきましては、既に令和4年度のいじめに関する調査結果について報告したところですが、同調査の本年度1学期分を取りまとめましたので報告いたします。

まず、認知件数です。グラフ1-1を御覧ください。昨年度の同時期と比べ、ほぼ同数、553件のいじめが認められました。右側、グラフ1-2を御覧ください。こちらも既に説明したとおり、小学校2年生、3年生、4年生が多く、学年を重ねるごとにその件数は減っていく傾向にあります。

本年度においては、小学校3年生と4年生で小学校全体の55%を占めております。ただし、学年別に見てみますと、そのときの子供たちによって特徴があります。例えば今年の小学校3年生、

赤いグラフ、数が多くなっていますが、この子供たちはその隣、小学校2年生の青いグラフの子供たちでございます。このようにいじめが多く発生しがちな学年もあるということが分かりますので、その子供たちに応じた指導をこれからも積み重ねていきたいと考えております。

次、いじめ認知のきっかけでございます。2【きっかけの割合】の円グラフに示しましたとおり、本人のアンケート、それから本人からの申出、あるいはお友達からの報告による気づきが全体の66%を占めております。また、教職員それから保護者、大人による気づきが全体の33%でございます。このグラフは、小中学生をまとめたグラフですが、小学校、中学校別に統計をとりましても同じ割合が出てきます。2学期以降も、子供の変化を大人が見逃さないことと児童生徒が相談しやすい環境づくりに努めることで、いじめの早期発見・早期解決を図りたいと考えております。

3、いじめの内容、態様の種別の件数をそこに示しました。グラフを見て分かるとおり、からかい、軽くぶつかる、文句を言われるが、全体の65%を占めます。前回報告しました全国学力・学習状況調査の調査項目の中に、いじめは何があっても許されないという項目がありまして、それについては、小学生98%、中学生97%がいじめは許されないと言っておりますが、この件数が出ているということは、やはり、この程度はいじめではないという軽い認識から起こっていることだと思いますので、こちらについても丁寧に関わり、指導をしていきたいと考えております。

また、数としては全体の3%にすぎませんが、パソコンやスマホ等で誹謗中傷、嫌なことをされるということもございまして、学年に応じて情報モラル教育を推進する必要があると考えております。

次、4、児童生徒のいじめへの対応です。大人としては複数で対応しておりますので数が増えておりますが、学級担任、養護教諭等の対応が全部で604件、さらにはスクールカウンセラーや心の教育相談員が対応したのが10件ということになっております。いじめに関しては、やはり、学級担任、保健室の先生の対応がまず一番の窓口であるということが分かります。

この結果から、今後2学期、3学期と、例年件数は減っていく傾向にありますが、指導体制の確立、適切な指導、今後も早期発見・早期対応、いじめを受けた子供へのケア、それから家庭地域

との連携を十分にしていきたいと考えております。
報告は以上です。

教育長

ありがとうございました。
では、ただいまの報告について質問等ございますでしょうか。
北田委員、お願いします。

北田委員

今、いじめの取りまとめの報告がありましたけれども、特に3・4年生の割合が小学校全体の55%ということで、3・4年生についてはある程度、世代的にも予想できることだと思います。特にこの年代というのは、数人で固まって行動するという特徴があるという報告もされていますので、ただ、これが3・4年生をピークに、学年が進行するに従って減ってきているというのは、課題が解決されているのかな、問題が解決されているのかなということも推測されます。

いじめの問題に関しては、恐らく発生件数がゼロになるということはありませんと思います。といいますのも、やっぱり子供たちが成長する過程でのトラブルの1つとして当然出てくる問題だと思いますので、要は、今の報告にありましたように、いかに早期発見、そして、それが早期解決につながるかということが肝要だと思います。特に、大人が子供の小さな変化を見逃さないようにして、引き続き、各学校でそのような取組が継続的に行われることが、解消に向けての取組だと思いますので、ぜひそういったことを継続して、また今後ともお願いし、重大案件が発生しないように、引き続きをお願いしたいと思います。

以上です。

教育長

課から何かありますか。いいですか。
では、伊藤委員。

伊藤委員

私も同じく小学校3年生、4年生が55%という数字が出ている件についてです。年齢的にもそういうふうなことはあるのかなと思います。人権擁護委員というのが山武市に9名います。その人たちが、各小学校で人権教室というのをやっております。各学校、ほぼ全部行っていると思うんですが、1時間、道徳でカウントしてもらおうということで、いじめについての学習を「プレゼント」という資料を使ってやっていますが、それについて子供たち

でみんなで考える。最後に、もし自分がそういう嫌なこととか、いじめだと思われるようなことが自分にあったとしたらどうしますかということを探ねます。そうすると、子供たちから、先生に言う、次が、親に言う、その2つが出てくるんです。だからそれを取り上げて、自分で抱え込むんじゃなくて、嫌だなと思ったら先生に言いましょ、それから、自分のおうちの人に言いましょ。そういうふうに最後まとめて終わるようにしています。

だから、もしかしたら、それが確実にこれに反映されているかわかりませんが、子供たちが今3・4年でその授業をやっているんですが、その授業の中で、嫌だなと思ったら先生に言うんだよということが自分の心の中に残っていれば、何か友達に嫌なことを言われたとか、たたかれたとか、恐らくそういうような内容だと思うんですが、それを先生に言うてくるはずですよ。5・6年になるともうそういうのはほぼ、先生に、たたかれるとかで言う子はいないと思いますが、3・4年生というのは、もしかしたらその人権教室の中で得た知識を子供たちがちゃんと、先生に言うとか、そういうふうになっているのもあるのかなど、はっきりはわかりませんが、何かちょっとそういう気がしたところです。でも、それが高学年になって減っていますので、それは特に問題にはなっていないかな、ここに重大な問題にはなっていないということもありましたので、ちょっとそういうふうに思いました。

以上です。

教育長 担当課、いかがですか。

指導室長 人権教室については、2学期以降、これから予定をしている学校もありますので、そちらの成果が出るとよいなと思っております。

また、今年の小学校6年生4月段階の調査では、「困ったことがあるとき相談できる大人がいる」が、本市は78%の子が「いる」と答えておりますので、素直な子供たちだと思いますので、教員も頑張って発見していきたいと思っております。

教育長 よろしいですか。

伊藤委員 はい。

- 教育長 ほか。相葉委員。
- 相葉委員 今の質問に関連して。人権擁護委員さんのそういった3・4年生に説いて、道徳の授業をやる。それはどこの学校も3・4年生の間に網羅されるような状態ということですか。
- 指導室長 全ての学校で人権教室を行う予定を立てておりますので、時期は1学期、2学期、分かれるんですけど、行っております。
- 伊藤委員 学校によっては3年生だけ、それから、3・4年でお願いしますというところも。
- 相葉委員 2回やるという。
- 伊藤委員 つまり、去年3年生ができなかったから、4年生になってやってください。だから、今年の3年生と去年の3年生、今4年生。だから3・4年ということですよ。それから、どこでしたっけ、ちょっと学校は忘れましたが、3年生ではなく4年生でお願いしますという学校もあるようです。
- 指導室長 コロナの時期のときにはできないことがしばらくあったんですけども、ここのところ戻ってきておりまして、全ての学校で取り組みます。
- 相葉委員 分かりました。
- 教育長 よろしいですか。
- 相葉委員 続いてもう一つ。このいじめから不登校とかそういったものへつながっていくというのがやはり一番心配されることじゃないかなと思われま。先ほど伊藤委員がおっしゃった、子供たちが中にため込んでしまって相談できない。先生方も日常にお忙しい中で、なかなか気づけない。そういったものの中で、子供がどういったところに、どういうふうにたまっているものを相談に行けばいいかというところを、やはり学校内で子供たちに知らしめていく、そういったことはすごく大事なかなと思います。大きくなってからだとなかなかそれが解きほぐせないもの、やはり小さい段

階からそういうのを解きほぐしていくということが大事だと思うので、ちょっと何がどうかというところは言えなくて申し訳ないですけれども、そういったものも、子供たちが常に相談できる場をつくっていくというのが大事かな。今、保健室とか、そういったものなり、あと心の相談窓口とかあるかと思う。そういうところの拡充をお願いできたらと思いますので、よろしく願いいたします。

教育長 何かありますか。

指導室長 校内に相談担当の先生の写真を貼ったりとか、あと、お悩みボックスといいますか……。

相葉委員 ありますね、職員室の中に。

指導室長 ございますので、そのようなものを十分活用できるようにしていきたいと思います。

教育長 よろしいですか。

相葉委員 はい。

教育長 では、私から1つ。全国学調の調査も絡め、いろいろ調べていただいてありがとうございます。いじめはやっちゃいけないという子が、小学校98%、中学校97%ということですが、逆にすると2%、3%の子が、絶対やっちゃいけないと思っていないともとれます。いじめの認知件数の中にその子供たちが入っているか把握していますか？

指導室長 把握しておりません。

教育長 そういう調査も必要かと思います。やっちゃいけないと思っていないから俺はやっているよという子がいるとなると、非常にそれはエスカレートしがちな気がします。概算ですが、市内中学生約1,000人の3%ということは、そういう子が30人位はいるとも考えられますので、きめ細かく学校指導をしていっていただきたいなと思います。

指導室長 はい。

教育長 では、よろしいでしょうか。

(「はい。」の声あり)

教育長 先に行きます。

○報告第3号

教育長 続いて、報告第3号、令和5年度山武市少年海外派遣事業の報告について、事務局お願いします。

生涯学習課長。

生涯学習課長 山武市少年海外派遣事業の報告について、御説明させていただきます。資料のほうは15ページからになります。

本事業は、山武市の未来を担う少年を海外に派遣し、その自然、文化及び学校生活等を見聞させ、広い視野と国際感覚豊かな人材を育成することを目的としています。派遣先はニュージーランドオークランド市など、学校体験は市内パ克蘭ガ中学校です。派遣期間については、8月18日金曜日から25日金曜日までの6泊8日で実施しました。派遣団の内訳は、団長、随行のほか、研修生15名です。添乗員として、両総観光株式会社から2名が同行しております。

研修の詳細につきましては、派遣団団長の加藤子ども教育課長より説明をさせていただきます。

子ども教育課長 それでは、今回、ニュージーランドの団長として行ってまいりましたので、内容について簡単に説明させていただきます。

まず、8日間行ってきまして、非常にこれはいい事業だなと感じました。研修生たち自身にとっても物すごくいいことでしょうし、恐らく研修生たちが周りの子供たち、自分の友達に話をしていく中で、この事業に来年参加してみたいなとか、もっと自分が英語を勉強してみたいなとか、そういう思いを周りで持っている人もたくさんいるようですので、非常に成果があった内容じゃないかなと思います。

行ってみて感じたことが、やはりニュージーランドは多国籍の国なので、パ克蘭ガ中学というところに行ったんですけれども、

今現在、そこには40を超える国や地域から生徒が来ているということでした。中には英語圏以外から移民してきている子もいるので英語が話せない子もいて、その子たちのために、例えば山武市はスリランカから来て日本語教室みたいなのをやっていますけれども、向こうは独自の英語教室みたいなものを個人的にやったりして面倒を見ているんだという話も聞きましたので、その辺りは非常に山武市と似ているんだなと感じましたし、何より向こうの生徒、それから教職員がとてもフレンドリーというか、気を遣ってしゃべりかけてくれるんじゃないかと本当に友達のように扱ってくれているので、その辺は日本人、我々の中学生、小学生も見習うべきかなと。いろんな外国の子が来たら、何か気を遣うから話すんじゃないかと、本当に友達として接してあげるとするのが大事なんだなと感じました。

あと、片言の英語で何とか生徒たちは過ごしていたんですけども、やはり英語が話せたらもっともっとすごく楽しいだろうなということで、山武市は英語教育に力を入れていますので、そういうところをもうちょっと伸ばしていって、この研修がさらに充実できるようになればなと感じました。非常に人の温かさというのを感じた8日でした。

以上です。

教育長

ありがとうございました。

では、報告について質問等ございましたらお願いいたします。

北田委員

なければ、意見を一言言わせていただきます。今、団長の加藤課長のほうから話がありましたけれども、私も出発式と帰国式の会に参加させてもらったんですけども、すごく子供たちが、派遣団の生徒たちが、よかったと、勉強になったということを口々に、その体験談を話しているのを見て、やっぱりこの事業そのものが、いわゆるホームステイですとか、あるいは現地の学校訪問だとか学校体験だとか、そういういろんな体験活動を通しての日程が盛りだくさんに組まれているということで、多分これは開催されたのは4年ぶりでしたか。

生涯学習課長

はい。

北田委員

ぜひ今後とも、この事業を継続していただいて、予算をつけて

もらって、さらに山武市の子供たちがこういった体験ができるという、多くの子供たちが体験できる機会を存続させてもらいたいと思います。

以上です。

教育長

課長から何かありますか。いいですか。では、御意見ということで。

ほかに何かございますか。よろしいですか。

では、私からも一言。先ほど団長からも話があったように、英語の、英検のことも力を入れてやっている、こういう活動もやっているという、それが課の縦割りにならないように、それがうまくつながって教育委員会の活動として、事業として、つながりを持ってやっていけるといいなと思いますので、ぜひその点も御配慮いただけるとありがたいです。

先に進みます。

○報告第4号

教育長

報告第4号、第14回山武市生涯学習振興大会について、説明をお願いいたします。

生涯学習課長。

生涯学習課長

それでは、第14回山武市生涯学習振興大会について説明をさせていただきます。資料は19ページからになります。

開催日は、10月28日土曜日、13時30分から成東文化会館のぎくプラザホールで開催いたします。今年度の振興大会の重点目標は、人と人との生涯を通じ共に学びあえるまちづくりです。内容につきましては、開会行事、海外派遣研修生報告、記念講演です。記念講演につきましては、筑波大学及び神田外語大学で客員教授を務める江上いずみ氏で、「グローバルマナーとおもてなしの心」について講演いただきます。教育長をはじめ教育委員の皆様方には御案内をさせていただいておりますので、ぜひ御出席くださいますようお願いいたします。

以上でございます。

教育長

ありがとうございました。

ただいまの報告につきまして、質問等ございましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。では、先に進みます。

○報告第5号

教育長 報告第5号、第74回山武郡市民体育大会の結果について、事務局からお願いいたします。
スポーツ振興課長。

スポーツ振興課長 私からは、第74回山武郡市民体育大会の報告をさせていただきます。

4年ぶりの開催となりました山武郡市民体育大会ですが、各競技、酷暑の中での開催となりました。大きな事故、トラブルなくスムーズに行われ、8月20日に全ての競技が終了となり、9月8日に総合閉会式が行われたところです。御理解、御協力、大変ありがとうございました。

総合優勝を目標に掲げて挑んだ大会ではありましたが、本市の総合成績は20ページの資料の一番下に記載があるとおり、総合3位といった結果となりました。資料では黄色で着色されている種目が優勝、青で着色されている種目が準優勝となっております。

次の21ページの資料では、各市町全体の成績表となっております。1位が大網白里市、2位が東金市、3位が山武市、4位、横芝光町、5位、九十九里町、6位、芝山町となっております。

報告は以上です。

教育長 ありがとうございました。
それでは、ただいまの報告について、御質問等ございましたら
お願いします。
よろしいでしょうか。それでは、先に進みます。

○報告第6号

教育長 報告第6号、行事の共催・後援について、事務局からお願いします。
教育総務課長。

教育総務課長 資料22ページを御覧ください。
8月中に許可を行った行事でございますが、記載の共催が3件、後援が4件となります。
説明は以上です。よろしくお願いいたします。

教育長 ただいまの説明について、質問等ございましたらお願いします。
よろしいでしょうか。

○報告第7号

教育長 それでは、報告第7号にいきます。令和5年10月の行事予定についてです。行事予定については、資料を事前に御確認いただいていることから、事務局からの説明は割愛させていただきます。質問等ございますでしょうか。よろしいですか。

○その他

教育長 そのほか、事務局から報告すべき事項はありますか。
指導室長。

指導室長 別紙で配付しました山武市教育委員会ダイアリーを御覧ください。

1、まず2学期がスタートしました。子供たち、元気に学校に戻ってきてくれました。ただ、9月1日現在で新型コロナウイルス感染による出席停止の児童生徒が21名おりました。インフルエンザの流行も予想されますので、今後も感染症予防を徹底してまいります。

参考までに、本日、明日と山武中学校は、3年生はインフルエンザで学年閉鎖になっております。今後も気をつけていきたいと思っております。

2、中学校の総合体育大会です。夏季休業中に中学校の総合体育大会が開催されました。今年は、学校のチーム以外に、クラブチームも参加する大会となりました。そこに示してある山武郡市の大会に中学校単位で出場したチームの上位入賞と県大会の出場をそこにまとめてございます。陸上競技では成東中の女子生徒が関東大会まで出場しております。以上でございます。

裏面です。報道等で全国の学校の校庭、公共グラウンドでくぎ等で児童生徒がけがをするという報道が相次いでおります。これを受けて、本市でも土木課から金属探知機を借用して市内の小中学校の校庭の安全点検を始めました。夏休み中に行いましたのでまだ全ての学校で行っていませんが、そこに示してある学校で、括弧の中の数字で、くぎであるとかフックであるとか発見されました。今後も子供たちにとって安心安全な環境づくりに努めたい

と思います。

夏休み、9月1日の始業式の日には教職員の研修を行いました。教頭先生、教務主任の先生を対象に、危機管理の研修、市で配置しております教育支援員さんは、発達障害の児童生徒の特性の理解とその対応についての講義等を行いました。今後も職位や役割に応じた研修を充実させてまいりたいと考えております。

5、学校情報等です。7月10日から夏休み期間中、幸い大きな事故はございませんでした。子供の交通事故は、車のドアミラーと腕が軽く接触した程度、職員については一時停止義務違反ですので、幸い大きな事故はございませんでした。今後も気をつけてまいります。

9月、10月は行事が多くなっております。成東東中学校、望洋中学校は9月の1週目に予定していた体育祭を熱中症への懸念から10月へ延期いたしました。そのほか小学校でも運動会、あるいは修学旅行、家庭教育学級等々、行事が盛りだくさんです。充実した2学期生活を送らせたいと考えております。

以上です。

教育長

ありがとうございました。ダイアリーについて御質問等ございますでしょうか。よろしいですか。

そのほか報告事項ございますか。

指導室長。

指導室長

続けて、先日の台風13号の学校、子供等への被害です。大きな被害はございませんでした。幸い、学校は臨時休業にしましたので、子供たちは安全でございました。学校については、雨漏りが多少あった程度です。子供たちの自宅では、成東小学区が水で困ったところが多かったようですが、玄関まで水が入ってきてしまったという報告もありましたが、水で学用品が濡れて使えなくなったりとか、家の片づけのために学校へ来れないとか、そういうことはございませんでしたので、報告いたします。

以上です。

教育長

ありがとうございました。

質問等ございますでしょうか。よろしいですか。

そのほか報告事項はありますか。

それでは、以上で、教育委員会会議第9回定例会を終了いたし

ます。お疲れさまでした。

◎閉 会 午後 2 時47分